

令和4（2022）年度 第1回四万十町立図書館協議会 会議録（要旨）

日 時：令和4年5月26日（金） 14時30分～16時
場 所：四万十町 農村環境改善センター2階 第1会議室

出席委員：竹村君子、刈谷明子、金子仁、小橋匠

欠席委員：武内文治

事務局：山脇教育長、味元課長（生涯学習課）、大河原館長、田辺副館長、富永主査（生涯学習課）、
長木（図書館）、谷脇（図書館）、須藤（図書館）、山地（図書館）

文化的施設整備推進室：大元政策監、西尾次長

■会議録（要旨）

議題1 令和3（2021）年度 事業報告について

【質疑応答】

（金子委員）資料②p9より

貸出密度：高知県内の数値を確認したい。

（大河原館長）

高知県内市町村平均は2.6。オーテピア高知図書館は高知市として6.65です。毎年日本図書館協会の集計表が公表されている。

議題2 令和4年度 事業計画について

【質疑応答】

（金子委員）資料②P15より

昨年の決算もつけていただいた方が分かりやすい。

（富永主査）

2021年度の決算が出るのが9月になるので昨年度予算なら出せる。

昨年度予算額は2,984万

（竹村委員）

子ども読書活動推進計画はサービス計画に入っているのか？

（大河原館長）

今年度のサービス計画で実施していく。「子ども読書活動推進計画」は、子どもがあらゆる機会とあらゆる場所で読書活動を行うことを目的に、読書活動の推進に必要な事項を定め実現するよう各自治体に国から求められている。高知県では現在第4次「子ども読書活動推進計画」を策定している。

(竹村会長)

情報システム導入と最後の広報活動、移動図書館について詳しく知りたい。子どももみんなスマホを持っている。図書館から直接情報が届くとよい。

(大河原館長)

現図書館システムはライブマックス図書館システムを使用。インターネットでの資料の検索ができる。インターネット上での資料検索・管理、家で直接予約・継続ができるよう利便性を高めたシステムの検討準備を進めている。

(竹村会長)

展示のコーナーが、インターネット動画で見えると新しい文化的施設と直結できる。
移動図書館についてはどうか。

(大河原館長)

移動図書館については、現在図書館がない地域を重点的に運行。学校、福祉施設等は、運航後も随時見直す予定である。ご意見があればお聞きしたい。

(竹村会長)

移動図書館は毎日運行しますか？

(大河原館長)

週何日か、つねに巡回するのか、イベント時の巡回などは、検討中。四万十町は広域のため学校や施設の巡回にも移動の時間がかかる。

(竹村会長)

巡回は運転する人だけか？

(大河原館長)

運転手のみか、司書・図書館職員も同乗するかは人の配置による。図書の貸出なら運転手だけでよいが、図書館の窓口、イベント時なら司書なども同乗、柔軟に考えたい。

(刈谷委員)

移動図書館の窓口は本館か？

(大河原館長)

今はそうだが文化的施設が出来れば専用窓口を設ける。

(刈谷委員)

今年度からか？

(大河原館長)

今年度は車両購入、巡回場所の検討。コースも1か所2か所で帰ってくるなど考えられる。
運行初日はセレモニーを行いたい。

議題(3) 子ども読書活動推進計画委員の推薦について

金子委員より刈谷委員推薦。(決定)

議題(4) 文化的施設について

【質疑応答】

(竹村会長)

建物が出来てからでは直せない。土佐市はいろんな市民のイメージを聞いて作ったそうだが、大人の目が届かないコーナーもある。みんなの意見をとりすぎてもいけない。階段があちこちにあるが、階段の踏み込みが狭くて降りるとき高齢者は使いづらい。

メイン入り口は古民家半平にすぐにつながる大事な入り口。屋根があるといい。岩本寺側駐車場は職員、業者だけでなく駐車場からの利用者。旧都築邸側は将来の半平さんとのつながりを考えた入り口にしてもらいたい。

ボランティアの方や実際の運営にたずさわる人が集まる駄場になるには、そういう方はどこで打ち合わせをするのか？小部屋がないのでは？

(大河原館長)

多く使われる入り口は岩本寺側駐車場と思われる。今の図書館は圧倒的に車で来られる方が多い。歩行者、観光客は町道側、半平からを意識している。半平から直に流れてくる人は旧都築邸側の入り口。施設の敷地内にある駐車場はこの形だが、今の半平からの駐車場などその辺りを全部含めて共同で使える駐車場となる。職員も共同で使える駐車場が理想的だと考える。

(西尾次長)

完成してからは直せないなので先に完成している他の施設を参考にしていく。

小部屋は1Fの多目的室を開放して使用。多目的室の交流コーナー側のドアは透明なスライド式を検討中。閉めて使用していても中での気配がわかる。ある場所をいかにうまく使っていくかという方向で検討中。

(竹村会長)

半平側の馬小屋について訊ねたい。

(大元政策監)

馬小屋については、にぎわい創出課、観光部署が所管している。その部署がどうしていか調査をした報告では、一旦は取り壊しになるが再建する。その方向性を今年度協議するようになっている。

(竹村会長)

入り口の旧都築邸側と2階の出入り口を共有することは出来ないのか。建物の景観はどうか。

(大元政策監)

駐車場は2階と同じ高さの上段にも設置。坂になっているため2階から出入りができないかと言われたが、防犯上、職員、子どもも多いので2階に出入口はない。1階の出入口は3か所。桜並木、線路が見える1階部分に駐車場台数12台。2F駐車場台数8台。

(西尾次長)

設計者には四万十ヒノキの使用を伝えている。回りの景観にも、岩本寺にも配慮する形。

(竹村会長)

1Fのウッドデッキコーナーの角が直角、カウンターの所も狭いのでは。

(西尾次長)

壁は構造上いろんな問題があるのでどこまで改良できるか検討。

(大河原館長)

設計者には報告するが窓非常口の関係もある。アプローチ棟、メイン棟、線路棟、3つの構成。アプローチ棟、線路棟は木造で、貴重な歴史的資料は、鉄骨構造。

(西尾次長)

アプローチ棟とメイン棟の間、線路棟とメイン棟の間に防災シャッターを設置しているので、壁の形状の変更の要望は伝えるが変更は出来ないかもしれない。

(刈谷委員)

R4のスケジュールより、形が見えてきてイメージがわかりやすい。設計に関しては個人的にスターパイロツさんが設計する図書館に行ってきた。デザイン性が勝つのではなく、あたたかい施設だった。

(大元政策監)

施設の設計に関しては設計者や館長の意見も取り入れ組み立ててきた。

(竹村会長)

他の図書館では、梶原町の雲の上図書館を見たが、四万十町の図書館は他とどこが違うのか。

(大河原館長)

美術・展示機能があり3つの機能を併せ持つのは国内では珍しい。四万十町の歴史、展示コーナーでは、四万十の歴史を感じられる物品を展示する。館全体で四万十川を感じられる施設とし、みなさんと一緒につくる施設にしたい。

(刈谷委員)

施設が出来たらバックヤードも見せてほしい。施設が出来ても住民が作る育つ施設にしてほしい。

(山脇教育長)

図書館、美術館は今日の委員会で反映できることをさらに深掘して設計していく。

文化的施設の運営は行政主導ではなく皆さんの管轄のもと育てる。厳しい目でご意見をいただきたい。

－閉会－